

8 計画の進行管理

本計画を運用していくにあたっての計画進捗状況の評価体制や PDCA サイクルによる評価・検証方法、計画期間内における協議会の想定実施スケジュール等は以下のとおりである。

8-1 取組状況の評価体制、評価、検証

施策を継続的に展開していくにあたっては、6-2 に示す「評価指標及び数値目標」に基づき、定期的なモニタリングを通じて、施策の実施効果や変化する社会情勢との適合性等を検証・評価し、適宜・適切に計画の見直しを行うことが重要である。

これら目標の評価にあたっては、「北海道留萌管内地域公共交通活性化協議会」にて行うこととし、PDCA サイクルにより評価・検証を行う。また、継続的に評価・検証を行う必要があることから、8-4 に示す「今後の協議会開催スケジュール」に基づき実施する。

なお、本計画の目標を実現するにあたっては、各市町村や交通事業者のみならず、各種団体などを含めた地域住民の理解と参加、協力が不可欠であることから、各関係者の役割を明確にした上で、それぞれの主体的な取組を促すことにより、本地域における持続可能な公共交通ネットワークの構築を進めていく。

関係者	求められる役割	内容
行政(国、関係地方公共団体等)	施策の検討・実施等	地域の交通に対するニーズの実態把握 各種公共交通に関する施策の実施 資金の調達等
交通事業者	安全な運行の確保等	公共交通の安全な運行 乗降状況のモニタリングの協力 経営努力の向上、収支改善への取組強化等
地域住民	公共交通の積極的な活用等	公共交通の積極的な利用等

表 8-1 取組の推進に向けた各関係者の役割及びその内容

8-2 目標達成状況のモニタリング方法

本計画の目標の達成状況に関するモニタリング方法として、評価指標と目標値、評価指標の測定方法を以下に示す。

指標値の測定は、毎年度実施し、計画期間中における目標の達成状況を継続的にモニタリングする。

【数値指標・目標値】〈目標 A-①の達成を測る指標〉

数値指標	現状値	目標値
	2021(R3)年度	2027(R9)年度
指標Ⅰ： 広域交通及び地域間交通の利用者数	326,296 人/年	326,296 人/年 以上
指標Ⅱ： 広域交通及び地域間交通の収支率	38.9 %	38.9 % 以上
指標Ⅲ： 広域交通及び地域間交通の公的資金投入額	215,436 千円/年	215,436 千円/年 以下

【数値指標・目標値】〈目標B-①、目標C-①、目標C-②及び目標C-③の達成を測る指標〉

数値指標	現状値	目標値
	2021(R3)年度	2027(R9)年度
指標 I： 広域交通及び地域間交通の利用者数(再掲)	326,296 人/年	326,296 人/年 以上

8-3 評価結果を踏まえた計画の見直し(PDCA サイクル)

本計画は、行政及び交通事業者で構成される「北海道留萌管内地域公共交通活性化協議会」において、PDCA サイクルにより、毎年、各事業の進捗状況、目標の達成状況などを確認し、事業効果や手段の妥当性について評価、検証し、必要に応じて見直しを行う。

また、計画期間の最終年には、計画全体について総括的な検証を行うこととする。



図 8-1 PDCA サイクルによる評価・検証

8-4 今後の協議会の開催スケジュール

適切な施策実施及び計画推進に向けた継続的な PDCA サイクルを行うため、以下のスケジュールで「北海道留萌管内地域公共交通活性化協議会」を開催する。

なお、毎年の施策の評価・検証結果により、施策(評価指標)の改善や見直しが必要になった場合は、以下のスケジュールとは別に協議会を開催し協議を行うなど、柔軟な対応を行う。

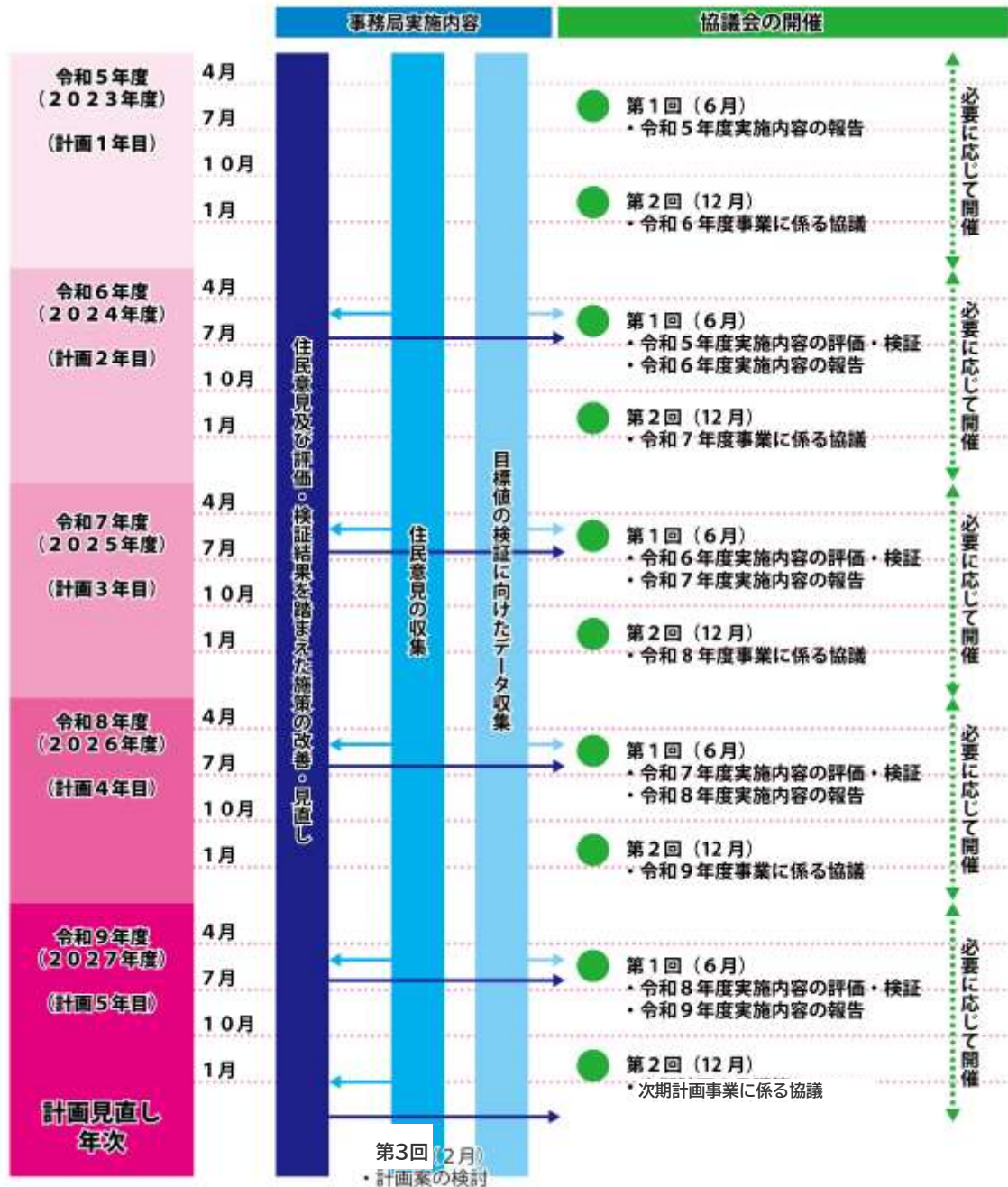


図 8-2 今後の協議会の開催スケジュール